

-  モバイル事業
-  ソリューション事業
-  決済サービス事業他

## 株主通信

vol.15

### 目次

企業理念と行動指針	1
株主の皆様へ	2
連結業績ハイライト／経営概況	3
モバイル事業	5
ソリューション事業	7
決済サービス事業他	8
TOPICS	9
連結財務諸表(要旨)	11
株主様アンケート結果及び ご要望への対応	12
会社情報	13

### 企業理念 Corporate Philosophy

我々は、社会の夢と豊かさの実現に貢献し、

Tomorrow 「明日」に向かって

Integrity 「誠実」に

Challenge 「挑戦」し続けます。

### 行動指針 Conduct Guideline

持続性と透明性の確保を目指し、  
様々なステークホルダーを視野に入れつつ、  
企業の社会的責任(CSR)を積極的に果たします。

#### 社会 Society

社会とのコミュニケーションを図り、  
積極的な社会貢献活動に  
取り組んでいきます。

#### 株主 Shareholders

説明責任を重視し、適正なガバナンス及び  
コンプライアンス体制の維持・運営に  
取り組み、企業価値の更なる向上を  
目指します。



#### お客様 Customers

お客様からの信頼に応える企業として、  
顧客第一主義に基づき、  
常に最高のサービスを提供し続けます。

#### 従業員 Employees

社員一人一人の個性と創意を尊重し、  
風通しの良い、働き甲斐のある企業で  
あり続けます。

## 株主の皆様へ



本年4月1日に、代表取締役社長に就任いたしました竹岡 哲朗です。株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

弊社グループの主な事業領域である携帯電話市場は、本格的な「スマートフォン(スマホ)時代」を迎え、店頭業務の複雑化・高度化、顧客獲得競争の更なる激化に加え新たなスマホ関連市場の拡大等、事業環境も大きく変化してきております。

当期において弊社グループは約625万台の携帯電話を販売し、スマホ比率は前期の5割弱から7割近くに上昇、全社の売上高は3%強の増収となりました。一方、ショップの移転・改装による大型化等ハード面での充実や、販売スタッフの教育・研修強化によるソフト面での質的向上が益々求められるようになってきており、弊社グループは積極的に先行費用を投下し、CS(お客様満足)推進を図ってまいりました。かかる環境下、手数料体系の変化等も相まって一部販路の販売効率の悪化により2割弱の減益となりましたが、販路等の選択と集中を実施し、今期から業務効率の向上等による収益の改善を実現させてまいります。当期の配当につきましては期初の予想を据え置き、前期比で株式分割前ベース500円の増配を実施させていただく予定です。

当期を振り返っても、フューチャーフォンからスマホへの移行が急激に進み、スマホが私たちの生活を始め、世界の経済にまで大きな影響を及ぼす「スマホワールド」とも言うべき世界が展開されてきております。弊社は、携帯端末のデバイスの供給・販売、回線の契約サー

ビスのみならず、アクセサリや決済サービスを含めたスマホ関連サービスを総合的にご提供しており、いわばお客様のスマホライフのスタートを担う重要な役割を果たしております。現場の販売スタッフ、バックオフィスのスタッフ、社員一人ひとりがこの役割を認識し、「現場主義の徹底」によって高い業務品質とモチベーションを維持・向上させていくことが重要であり、現場における更なるサービス向上を目指し、ティーガイア・グループとして業務の効率化、品質向上と改善を推進してまいります。

弊社では今年度の全社スローガンとして、「現場主義の徹底」による「スマホワールドの実現」を掲げております。具体的には、期初に開校した社内教育・研修機関「TGアカデミー」を活用したショップの強化・拡充に加え、スマホ向けアクセサリショップ「Smart Labo」等の展開を通じて、販売チャネルの高度化・専門化を促進しております。決済サービス事業では、ネット通販市場の拡大に対応するべくギフトカード事業の拡充により顧客利便性の向上を図っており、海外事業においては、中国の大手通信事業者のチャイナユニコムとの業務提携に基づき、上海市内でチャイナユニコムの販売拠点を10箇所(本年5月末現在)運営し、法人向けソリューションサービスの充実を含めた事業を積極的に推進しております。

このような取り組みを通して、お客様のスマホライフをサポートし、弊社スローガンであります「スマホワールドの実現」を目指してまいります。通信事業者様との情報交換や戦略の共有を通じてより密接な連携を図り、スマホ市場を伸ばし牽引して行く所存です。

更に、弊社と共に携帯販売業界を支えてくださるパートナー代理店と協働し、経営基盤を筋肉質とすべく業務改革を共に進めてまいります。今後も持続的な成長の実現と株主価値並びに企業価値の更なる向上に努める所存ですので、引き続きご支援・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

平成25年6月  
代表取締役社長執行役員

竹岡 哲朗

### 配当について

業績の進展状況に応じて、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、配当性向30%以上を目途として利益還元を実施してまいります。

平成26年3月期  
年間配当金  
(予想/1株)

35円

※当社は、平成24年10月1日付にて普通株式1株を200株とする株式分割を行いました。平成26年3月期の年間配当金(予想)35円は、分割前の1株に基づいて換算しますと7,000円となります。